

○国土交通省は、施設の点検・診断や補修・改良工事といった維持管理業務における省力化・効率化に資することを目的として、港湾施設の維持管理情報データベースを構築し、平成28年4月から本格運用を開始しています。

○維持管理情報データベースの利活用について

①計画的な維持管理の基礎資料として活用

- a. 経過年数別、劣化状況別の施設数の把握
- b. 年度毎の点検や補修工事が必要な施設数の把握
- c. 年度別の補修費の把握

②特定技術基準対象施設の維持管理状況に関する報告の徴収において、維持管理情報データベースへの登録及び情報に変更等が生じた場合等のデータを更新をもって、その報告が行われたものとして扱います。

⇒ 維持管理情報データベースへの登録、情報更新を定期的に行うことにより、維持管理状況把握の一元化及び上記の利活用が期待できるとともに、維持管理業務の省力化、効率化に繋がるため、積極的な登録の促進と活用の徹底をお願いします。

◆データベースを利用するには、ユーザー登録が必要です。

◆特定技術基準対象施設の維持管理状況に関する報告の徴収に際し、当該民間事業者のユーザー登録につきましては、下記に問い合わせ下さい。

◆連絡先：東北地方整備局 港湾空港部 工事安全推進室 維持管理担当

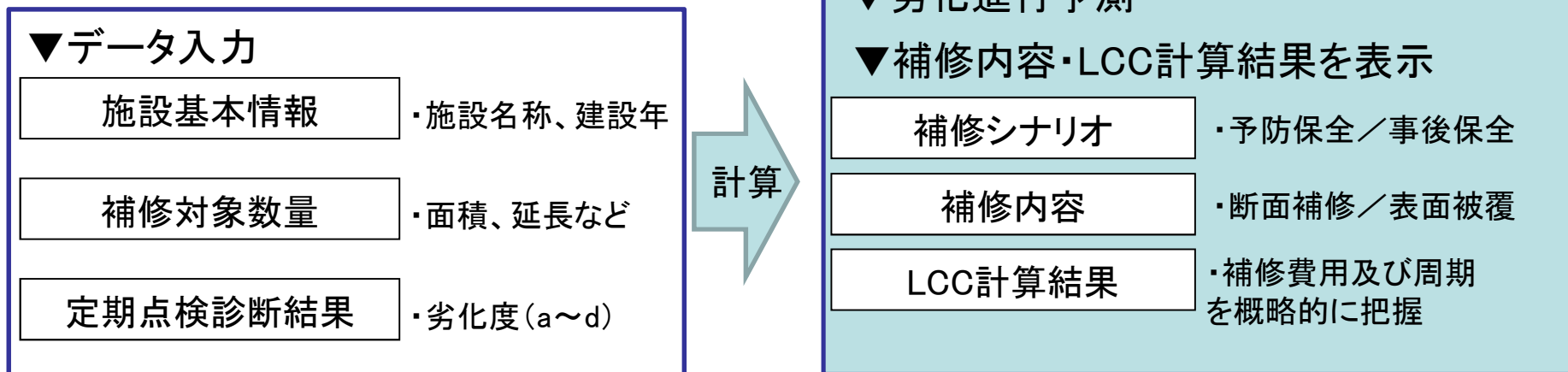
電 話：022-716-0008

港湾施設維持管理費用(LCC)計算プログラムの活用について

■LCC計算プログラム(平成25年度より運用開始)

維持管理計画等に基づき実施された定期点検診断結果等を用いて、港湾施設の供用期間中の概算補修費を簡便に算出することができる本ツールの積極的な活用をお願いします。

【LCC計算手順】



◆入手方法

- ①国土技術政策総合研究所の次のサイトにアクセスしてください。
URL : <http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/kouwan/sekou/lcc.htm>
- ②システム導入の手順や使用条件等を確認の上、プログラムをダウンロードしてください。
プログラム名:「港湾施設維持管理費用(LCC)計算プログラム」
- ③国土技術政策総合研究所港湾施工システム・保全研究室に次のアドレスより問い合わせると、ファイルを開くためのパスワードが送付されます。
アドレス : ysk.nil-lcc-compute@gxb.mlit.go.jp
※上記URLからはLCC計算プログラムの操作動画もダウンロードできます。

維持管理にかかる研修等の実施

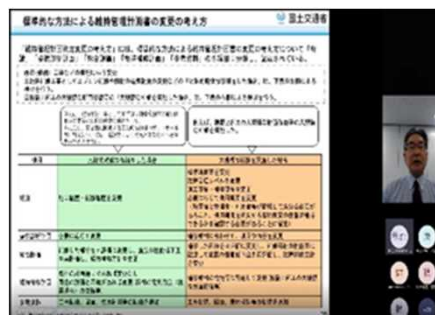
港湾施設の維持管理に関する技術講習会(主催：東北地方整備局)

- 概要：平成28年度から港湾施設の適切な維持管理に対応すべく、実務技術向上を目的に東北地方整備局及び港湾管理者並びに特定技術基準対象施設を有する民間事業者の維持管理業務に従事する職員を対象とした講習会を3箇所で開催(3回/年度程度)
- 対象者：港湾施設の維持管理業務に従事する国及び港湾管理者並びに民間事業者の職員
- 開催時期：令和3年度は3回開催(秋田港34名、宮古港8名、小名浜港37名受講)
令和4年度も3回を継続予定(開催場所等未定)
- 講習内容：(講習会)技術情報(基礎的な知識、港湾の施設の維持管理計画の策定方法、LCCの算定標準的及び簡易的な施設点検診断手法の違い、総合評価、維持管理補修工法等)に関する講習
(現場実習)岸壁における点検診断(電防の電位測定含む)、新技術(GPS機能付きカメラと写真ソフト・点検診断簿)を用いた点検及び総合評価判定(グループ討議)の実習、直営による維持管理計画書及び点検診断計画の策定に関する実習
〈参考：令和3年度実施内容〉

【講習会の様子】



【講習会状況】



【講習会状況(web)】



【現場実習状況(点検診断)】



【グループ討議状況】